

教人 第2274号
令和4年2月4日

東北大学長 殿

神奈川県教育委員会教育長



令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
特別選考（大学推薦）の実施について（通知）

このことについて、別添の要領により大学推薦による特別選考を実施します。
つきましては、貴学学生等に周知いただくとともに、推薦について御配慮いただきますようよろしくお願い申し上げます。
なお、推薦可能人数については毎年見直すこととしておりますので御承知おきください。

1 貴学推薦可能人数

障がい者区分 人数に制限はありません
中学校・高等学校外国語（英語）教員区分 人数に制限はありません

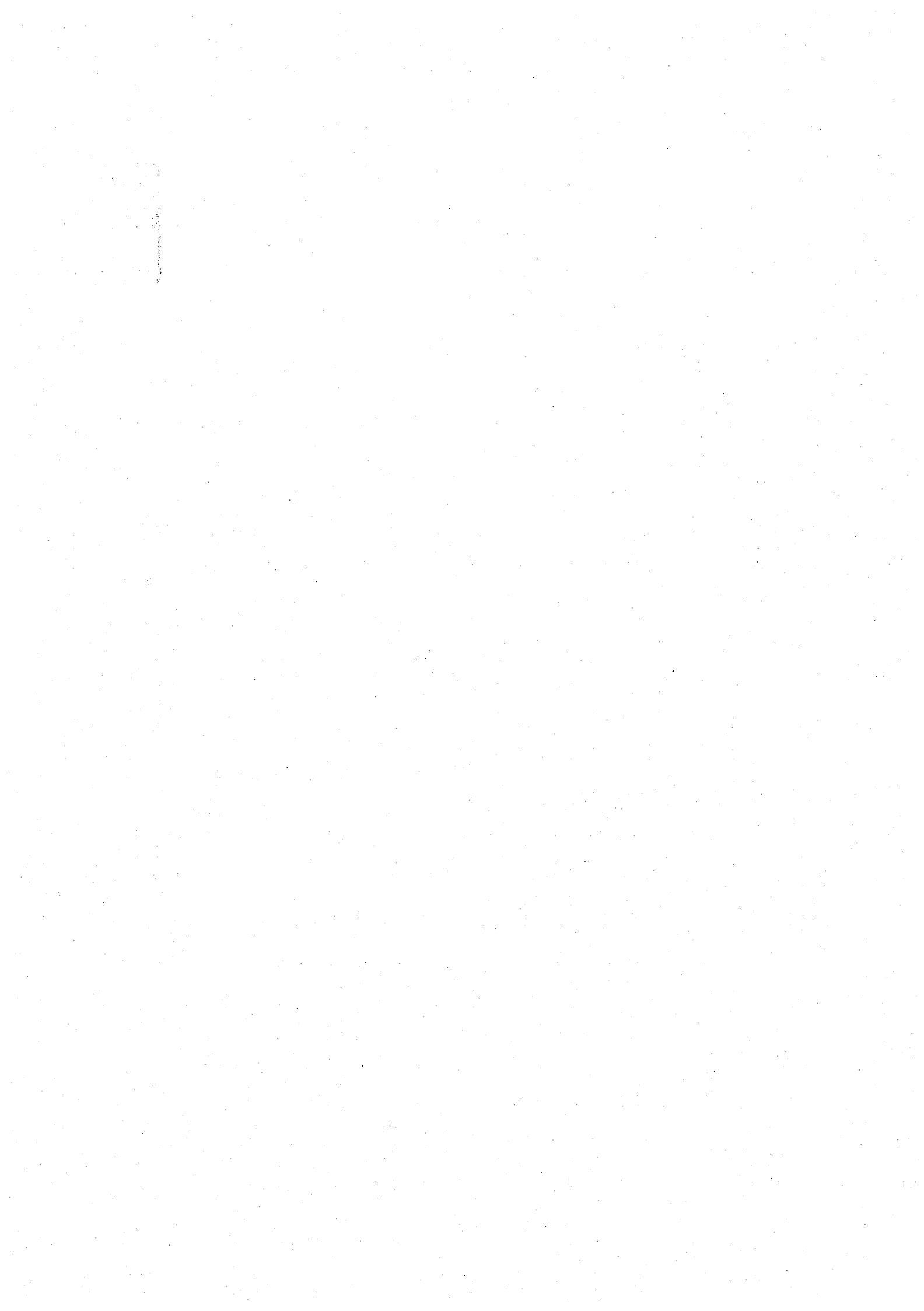
2 応募（推薦）手続き

- (1) 各大学等において提出書類を取りまとめ、封筒表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、簡易書留により提出してください。
- (2) 同封の様式例を参考に送付状を作成してください。
- (3) 推薦する者がいない場合は、連絡の必要はありません。
- (4) 被推薦者には、県教育委員会のホームページ（教職員採用のページ）により、受験に関する最新情報を確認するようお伝えください。
- (5) 申込期限は令和4年5月6日（金）（必着）となります。

3 その他

- ・ 大学推薦制度は、必ずしも合格を保証するものではありません。
- ・ 横浜市、川崎市及び相模原市の採用試験とは異なりますので御注意ください。
- ・ 推荐にあたっては、県教育委員会のホームページ（教職員採用のページ）により令和4年2月9日付記者発表資料を御確認ください。
- ・ 大学推薦により申込みをした学生は、電子申請等による個別の受験申込みは不要です。
- ・ 県教育委員会のホームページ（教職員採用のページ）URL
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y4g/cnt/f7272/>

提出先及び問合せ先
神奈川県教育委員会
教育局行政部教職員人事課
教職員採用グループ 村田、宮西
〒231-8588 横浜市中区日本大通1
電話 (045) 210-8190
FAX (045) 210-8938



令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
特別選考（大学推薦）実施要項

1 目的

この要項は、大学、短期大学、大学院及び教職大学院から、成績が優秀で優れた人間性を有し、教員として実践力を発揮することが期待できる者について学（部）長からの推薦を受け、特別選考を実施するにあたり、必要な事項を定める。

2 大学推薦の対象

- (1) 小学校教員区分
- (2) 障がい者区分（全校種等・教科）
- (3) 教職大学院区分（全校種等・教科）
- (4) 理科、英語に優れた力量をもつ小学校教員区分
- (5) 中学校・高等学校外国語（英語）教員区分
- (6) 特別支援学校教員区分

3 選考基準等

特別選考試験の実施内容等については、別途要領を定める。

令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考
(大学推薦：障がい者) 要領

1 目的

この要領は、令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考のうち、大学（大学院、教職大学院及び専攻科を設置する短期大学を含む）から推薦を受ける障がい者区分に係る選考について必要な事項を定める。

2 選考の対象となる校種等・教科

全校種等・教科（詳細については、神奈川県ホームページの令和4年2月9日付け記者発表資料を参照すること）

3 推薦申込みの対象大学

教諭一種（専修）免許状の課程認定を受けている大学等

4 推薦の基準

神奈川県公立学校（横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く）の教員を第1希望とし、次の(1)～(6)を全て満たす者

(1) 令和2年度以降に大学等を卒業した者又は令和4年度に大学等を卒業（修了）見込みの者

(2) 受験しようとする校種等・教科の教諭一種（専修）免許状所有者又は令和5年3月31日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者

(3) 次の基準に該当し、当該大学の学長、学部長又は院長が推薦する者

ア 神奈川の「めざすべき教職員像」（別紙資料）に照らして、神奈川県公立学校教員としての適性を有し、かつ教員志望の動機が明確である者

イ 学業成績優秀（在学時の成績「優」（80～100点）相当の数が50%以上（小数第1位を切り捨て））の者

(4) 次のいずれかに該当する者

・身体障害者手帳の交付を受けている人

・身体障害者福祉法第15条の規定により都道府県知事の定める医師（以下「指定医」という。）、労働安全衛生法第13条に規定する産業医又は人事院規則10-4（職員の保健及び安全保持）第9条第1項に規定する健康管理医その他これに準ずる者が作成した、障害者の雇用の促進等に関する法律別表に掲げる身体障害を有する旨の診断書又は意見書（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫又は肝臓の機能の障害については、指定医が作成した診断書又は意見書に限る。）の交付を受けている人

・都道府県知事、政令指定都市市長又は中核市市長が発行する療育手帳の交付を受けている人

・知的障害者更生相談所、児童相談所、精神保健福祉センター、障害者職業センター、精神保健指定医により知的障害があると判定された人

・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人

(5) 昭和37年4月2日以降に出生した者

(6) 地方公務員法第16条（欠格条項）及び学校教育法第9条（欠格事由）に該当しない者

5 推薦人数

特に人数枠を設けない。

6 推荐手続等

(1) 提出書類

ア 送付状（別添様式を参照のこと）

イ 「推薦書」（別添様式を使用のこと）

ウ 成績証明書（学校所定の様式）

工 「身体障害者手帳」、「療育手帳」又は「精神障害者保健福祉手帳」の写し
オ 「論文用紙」（別添様式を使用のこと）に記載の論文題に関する800字程度の論文
(原則本人自筆。代筆が適当な場合は、理由書を添付)
力 「受験申込書」（別添様式を使用のこと）（原則本人自筆）
キ 「受験者カード」（別添様式を使用のこと）
ク 本人への受験票等送付のための返信用封筒（角形2号）
※ 140円分の郵便切手を貼付し、本人への送付先を明記すること。

(2) 申込方法

各大学において関係書類を取りまとめ、簡易書留により提出する。

封筒（角形2号）の表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、取りまとめを担当する部課、担当者名及び連絡先を明記する。

(3) 申込期限

令和4年5月6日（金）（必着）

(4) その他

大学推薦区分で応募する者は、他の選考区分で重複して申込みを行うことはできない。ただし、大学推薦区分で応募し、第1次試験で不合格になった者については、「10 その他」を参照のこと。

7 第1次試験

大学からの推薦書、在学時の成績及び課題論文により選考する。

選考結果は、大学に6月上旬までに通知するとともに、不合格者で「障がいのある人を対象とした特別選考」の受験を希望する者へは、第1次試験用受験票を6月下旬までに、合格者へは第2次試験用受験票等を8月上旬までに送付する。

8 第2次試験

神奈川県ホームページで公表予定（令和4年4月中旬頃）の「令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項」を参照のこと。

また、詳細は、第1次試験合格者に別途通知する。

なお、第2次試験における選考は、公募による「障がいのある人を対象とした特別選考」受験者と併せて行う。

9 採用

- (1) 原則として、採用候補者名簿の登載者は、令和5年4月1日付けて、神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験の受験校種での採用とする。大学推薦受験者の大学院進学等による採用期日の延期は認めない。
- (2) 日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤講師として採用する。

10 その他

第1次試験で不合格になった者は、希望により神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験の「障がいのある人を対象とした特別選考」の受験者（大学推薦での申込みと同一の校種等・教科）として扱う。その際、新たな申込手続きは要しない。

令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考
(大学推薦:中学校・高等学校外国語(英語)教員)要領

1 目的

この要領は、令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考のうち、大学(大学院及び教職大学院を含む)から推薦を受ける中学校・高等学校外国語(英語)教員区分に係る選考について必要な事項を定める。

2 選考の対象となる校種等・教科

中学校・外国語(英語)

高等学校・外国語(英語)

3 推薦申込みの対象大学

中学校・高等学校教諭一種(専修)免許状(外国語(英語))の課程認定を受けている大学等

4 推薦の基準

神奈川県公立中学校、高等学校(横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く)の教員を第1希望とし、次の(1)~(5)を全て満たす者

(1) 令和4年度に大学等を卒業(修了)見込みの者

(2) 中学校教諭一種(専修)免許状(外国語(英語))又は高等学校教諭一種(専修)免許状(外国語(英語))所有者又は令和5年3月31日までに当該免許を確実に取得できる見込みの者

(3) 次の基準に該当し、当該大学の学長、学部長又は院長が推薦する者

ア 神奈川の「めざすべき教職員像」(別紙資料)に照らして、神奈川県公立学校教員としての適性を有し、かつ教員志望の動機が明確である者

イ 学業成績優秀(在学時の成績「優」(80~100点)相当の数が50%以上(小数第一位を切り捨て))の者

ウ TOEIC(IPテストは除く)730点以上、TOEFL-iBT(インターネット版TOEFL)80点以上又は実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)準1級以上のいずれか1つのスコアや級の取得者(受験申込期限時に有効なものに限る)

(4) 昭和37年4月2日以降に出生した者

(5) 地方公務員法第16条(欠格条項)及び学校教育法第9条(欠格事由)に該当しない者

5 推薦人数

特に人数枠を設けない。

6 推荐手続等

(1) 提出書類

ア 送付状(別添様式を参照のこと)

イ 「推薦書」(別添様式を使用のこと)

ウ 成績証明書(学校所定の様式)

エ 4 推荐の基準(3)ウを証明する書類の写し

オ 「論文用紙」(別添様式を使用のこと)に記載の論文題に関する800字程度の論文(本人自筆)

カ 「受験申込書」(別添様式を使用のこと)(本人自筆)

- キ 「受験者カード」（別添様式を使用のこと）
- ク 本人への受験票等送付のための返信用封筒（角形2号）
※ 140円分の郵便切手を貼付し、本人への送付先を明記すること。

(2) 申込方法

各大学において関係書類を取りまとめ、簡易書留により提出する。

封筒（角形2号）の表面に「大学推薦受験申込書在中」と朱書きの上、取りまとめを担当する部課、担当者名及び連絡先を明記する。

(3) 申込期限

令和4年5月6日（金）（必着）

(4) その他

大学推薦区分で応募する者は、他の選考区分で重複して申込みを行うことはできない。ただし、大学推薦区分で応募し、第1次試験で不合格になった者については、「10 その他」を参照のこと。

7 第1次試験

大学からの推薦書、在学時の成績、4 推薦の基準(3)ウのスコアや級及び課題論文により選考する。

選考結果は、大学に6月上旬までに通知するとともに、不合格者で中学校・英語又は高等学校・英語の一般選考の受験を希望する者へは、第1次試験用受験票を6月下旬までに、合格者へは第2次試験用受験票等を8月上旬までに送付する。

8 第2次試験

神奈川県ホームページで公表予定（令和4年4月中旬頃）の「令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項」を参照のこと。

また、詳細は、第1次試験合格者に別途通知する。

なお、第2次試験における選考は、公募による他の選考の受験者と併せて行う。

9 採用

- (1) 原則として、採用候補者名簿の登載者は、令和5年4月1日付けで、神奈川県内公立中学校、中等教育学校又は高等学校（横浜市立、川崎市立及び相模原市立を除く）での採用とする。大学推薦受験者の大学院進学等による採用期日の延期は認めない。
- (2) 日本国籍を有しない者は、任用期限を付さない常勤講師として採用する。

10 その他

第1次試験で不合格になった者は、希望により神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験の一般選考の受験者（大学推薦での申込みと同一の校種・教科）として扱う。その際、新たな申込手続きは要しない。

(送付状 様式例)

令和 年 月 日

神奈川県教育委員会教育長 殿

大学名

職・氏名

印

令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験における
特別選考（大学推薦）にかかる推薦書等について（提出）

のことについて、次のとおり提出します。

1 推薦する学生（院生）（※ 推荐の区分、学部・学科、氏名を記載する。）

2 提出書類

- (1) 送付状（※本紙を参考に作成してください）
- (2) 推薦書
- (3) 成績証明書
- (4) （※中学校・高等学校外国語（英語）教員区分のみ）要領4 推薦の基準(3)ウを証明する書類の写し
- (5) 論文用紙
- (6) 受験申込書
- (7) 受験者カード
- (8) 返信用封筒
- (9) （※障がい者区分のみ）障害者手帳等の写し

3 問合せ先

- ・担当部署名
- ・担当者名
- ・郵便番号、住所
- ・電話番号
- ・ファクシミリ番号

令和 年 月 日

神奈川県教育委員会教育長 殿

大学

学長（学部長、院長）

印

推薦書（大学推薦）

令和4年度実施 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験特別選考（大学推薦）について、次の者が神奈川県公立学校教員を第1希望とし、推薦の基準を満たしていると認められますので推薦します。

区分 (該当する区分に○印を書き、校種等・教科を括弧内に記入してください。)	8 小学校教員	9 障がい者	10 教職大学院	11 理科、英語に優れた小学校教員	12 中学校・高等学校外国語（英語）教員	13 特別支援学校教員
	校種等・教科（科目） ()					
氏名				生年 月日	西暦 年 月 日	生
学部・学科			卒業（修了） 年月日	年 月 日 卒業（修了）・見込		

○人物に関する事項

評価項目	評価内容
教育に対する熱意と使命感	
児童・生徒に対する理解	
豊かな人間性と人間関係能力	

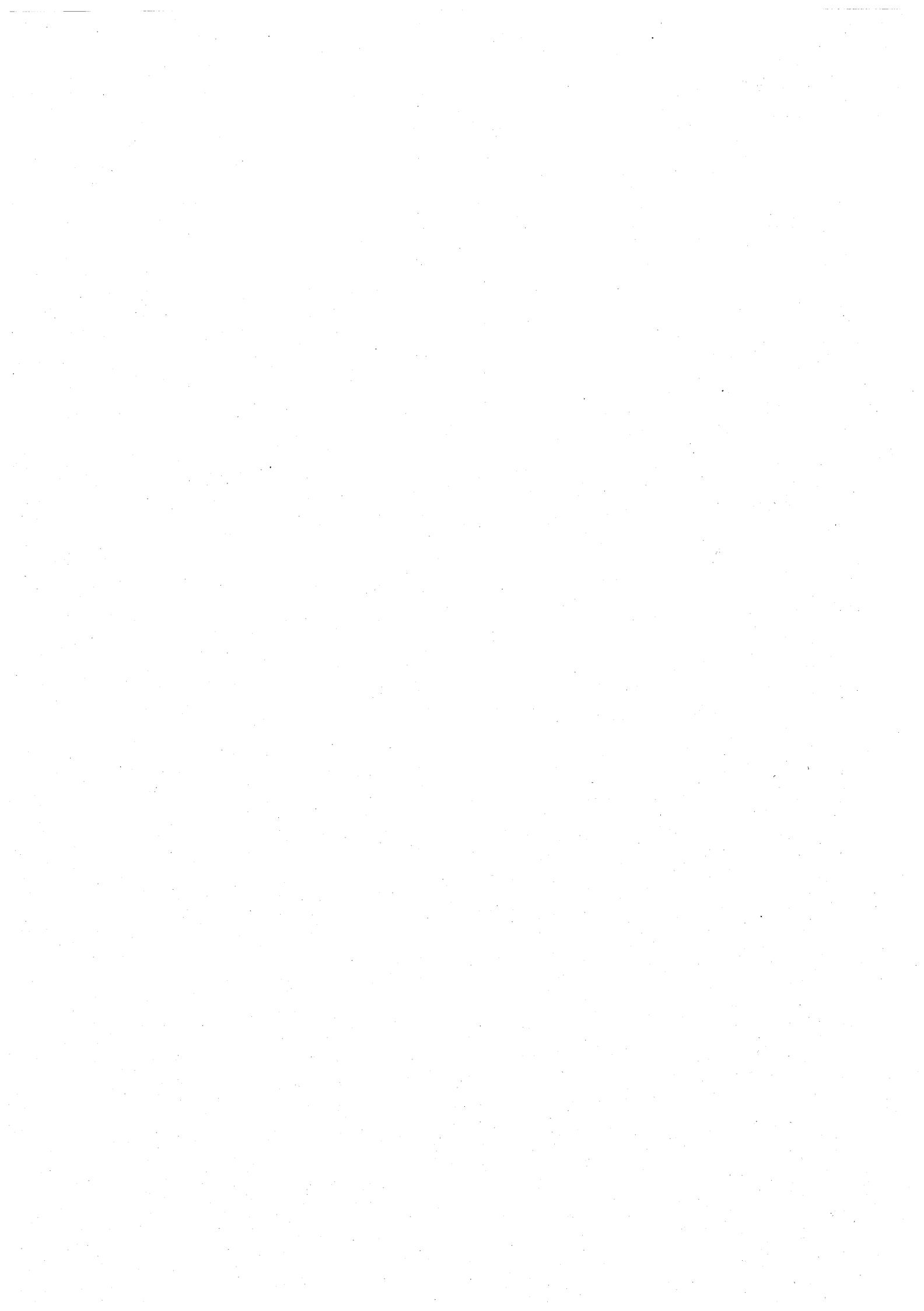
○学業に関する事項（教職関連科目や教育実習の状況等）

--

○その他参考となる事項（神奈川県への志望理由等）（障がいにかかる配慮事項 ※障がい者区分のみ）

--

記載責任者 職・氏名	連絡先
印	



【令和4年度実施 論文用紙】（大学推薦）

学校名	氏名
-----	----

【論文題】

神奈川県では、児童・生徒等の発達段階に応じて、人権に関する理解を深め、人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を推進しています。このことについて、あなたの考えを述べなさい。

また、そのことを踏まえ、あなたは児童・生徒等の人権に十分に配慮し、一人ひとりを大切にした教育活動にどのように取り組みますか。600字以上840字以下で具体的に述べなさい。

(300字)

(600字)

(840字)

※鉛筆で濃くはっきりと書いてください。

令和4年度実施
神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験

受験申込書

(大学推薦用)

※第1次	※第2次	※実技

校種等・教科	※受験番号

選考区分(番号を1つ○で囲む) 特別選考(大学推薦)							校種等(記号を1つ○で囲む) 教科(BCの受験者のみ)					
小学校	障がい者	教職大学院	小学校(理英)	中高(英語)	特別支援学校		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	義務教育	
8	9	10	11	12	13		A	B	C	D	E	
ふりがな							生年月日	西暦 年 月 日生	写真貼付欄			
氏名							年齢	2023年4月1日現在	1 申込みの際に、写真を貼ってください。			
ふりがな								歳	2 写真は、申込み前3ヶ月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身脱帽、正面向きのものが必要です。			
現住所							【必須】電話番号① () - 【任意】電話番号② () -		3 写真の裏面に必ず氏名 校種等・教科を記入してください。			
上記の現住所で連絡がとれない場合の連絡先							【任意】電話番号① () - 【任意】電話番号② () -					
学校名:							西暦 年 月 日	卒業(修了)・見込				
最終学歴 学部(研究科): 学科(専攻):												
受験する校種等 教科の免許状		種類	教科(領域)	取得(見込)年月	取得状況							
				西暦 年 月	取得・見込							
				西暦 年 月	取得・見込							

【中学校(保健体育)、高等学校(保健体育)の受験者のみ】

<保健体育実技試験選択種目について>
右の表の「選択群A」、「選択群B」、「選択群C」から、それぞれ種目を選択し、空欄に○を記入してください。

(注)出願後の変更是できません。

●選択群A		
1種目 選択	ハンドボール	
	バドミントン	
	ソフトボール	

●選択群C		
2種目 選択	マット運動	
	ハーダル走	
	水泳(クロール及び平泳ぎ) 現代的なりズムのダンス	

●選択群B		
1種目 選択	柔道	
	剣道	

性別(○で囲む)	
男	女

私は、要領に掲げてある推薦の基準をすべて満たしており、学(部)長からの推薦を受けました。この申込書で希望した神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験を受けたいので申し込みます。

なお、この申込書の記載事項に相違なく、本試験の結果等の情報を、出身大学に提供することについて同意します。

(この欄は、自筆で記入してください。)

西暦 年 月 日

氏名

(自筆署名) _____

○ 特別選考(大学推薦)の第1次試験で不合格だった場合、申込みと同一の校種等・教科の一般選考(障がい者区分で申し込んだ方は、障がいのある方を対象とした特別選考)での試験を受験することについて

(希望する・希望しない)

※ 希望するを選択した場合、新たな申込み手続きは不要です。

○ 神奈川県内(横浜市、川崎市及び相模原市を除く)の市町村立の小学校、中学校及び特別支援学校並びに神奈川県立の高等学校、中等教育学校及び特別支援学校での臨時の任用職員及び非常勤講師の登録依頼のために、私の個人情報(氏名・住所・電話番号・所有教員免許状等)を提供することについて

(同意する・同意しない)

※ 「同意する」に○をつけた方には、必要に応じて登録手続のための連絡をする場合があります。

「受験申込書等記入要領(大学推薦用)」

- 1 ※欄は、記入しないでください。また、該当する項目は、○で囲んでください。
- 2 記入は、ペンかボールペン(黒又は青インク)を用い、楷書で記入してください。
- 3 「校種等・教科」欄は、「受験者カード記入例」の校種等・教科コード表を参照して、4桁の数字で記入してください。
- 4 「選考区分」欄の該当番号は、1つだけ○で囲んでください。
- 5 「校種等」欄は、該当する校種等の記号を1つだけ○で囲んでください。
「教科」欄は、中学校及び高等学校の場合のみ記入してください。
「科目」欄は、高等学校の地理歴史、理科及び工業の場合のみ記入してください。
- 6 「年齢」欄は、採用時(令和5(2023)年4月1日現在)の年齢を記入してください。
- 7 「最終学歴」欄は、卒業(修了)又は見込みの短大・大学・大学院名と学部(研究科)・学科(専攻等)名を記入し、卒業(修了)又は見込の別を○で囲んでください。
- 8 「受験する校種等・教科の免許状」欄は、受験する校種等・教科の免許状について先に取得したものの(取得予定のもの)の種類、教科及び取得(見込)年月を記入し、取得・見込の別を○で囲んでください。
※ 「理科、英語に優れた力量をもつ小学校教員」区分については、小学校教諭免許状の取得状況及び、中学校又は高等学校教諭免許状(理科又は英語)の取得状況を記入してください。
※ 「中学校・高等学校外国語(英語)教員」区分については、中学校教諭免許状外国語(英語)又は高等学校教諭免許状外国語(英語)取得状況を記入してください。
※ 複数免許の取得が条件になっている教科(4月中旬発表の実施要項を参照のこと)については、もう一つの欄にも記入してください。

《「種類」欄の記入例》

平成元年4月1日以降に、新教育職員免許法により免許状を取得している人

(例) 小学校の2種免許状→小2種、中学校の1種免許状→中1種、高等学校の専修免許状→高専修
特別支援学校の1種免許状→特1種、特別支援学校の専修免許状→特専修

平成元年3月31日以前に、旧教育職員免許法により免許状を取得している人

(例) 小学校の1級普通免許状→小1普、中学校の2級普通免許状→中2普、高等学校の2級普通免許状→高2普

- 9 署名欄に自筆署名してください。自筆署名できない場合は、その理由、代筆者の氏名及び受験申込者との続柄を任意の様式に記入のうえ、押印し、受験申込書に添付してください。
- 10 特別選考(大学推薦)の第1次試験で不合格だった場合に、一般選考(障がい者区分で申し込んだ方は、障がいのある人を対象とした特別選考)での試験を受験することを「希望する」又は「希望しない」の別を○で囲んでください。
- 11 登録依頼等のための個人情報の提供について、「同意する」又は「同意しない」の別を○で囲んでください。
- 12 受験申込書の写真貼付欄に貼る写真は、申込み前3ヶ月以内に撮影した、縦4cm、横3cm、上半身、脱帽、正面向きのものを、裏面に氏名、校種等・教科を書いてから貼ってください。受験票への貼付用と第2次試験用に同一の写真がさらに3枚(計4枚)必要になります(各自保管)。
- 13 中学校(保健体育)、高等学校(保健体育)の受験者は、第2次試験の実技試験種目の選択がありますので、「保健体育実技試験種目選択表」の選択項目欄に合計4つ○をつけ、性別欄も記入してください。選択した種目は必ず控えておいてください(出願後の変更はできません)。
- 14 「受験者カード記入例」に従って、「受験者カード」の太線の枠内のみ鉛筆で楷書でていねいに記入してください。

- ◎ 申込記載事項が正しくないことが明らかになった場合は、合格を取り消すことがあります。
- ◎ 日本国籍を有しない人は、任用期限を付さない常勤講師としての採用となります。

4 受験者カード

(郵送申込用)

・記入例に従って、太線の枠内のみ鉛筆で楷書でていねいに記入してください。

C#		校種等・教科					※受験番号				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
G	A										

氏名(漢字で記入)											
姓				名							
11	20	21	30								

氏名(カタカナで記入。濁点(ー)、半濁点(ー)は1字として扱う)											
姓	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
名										52	53
										54	55

生年月日											
年(西暦)				月			日				
56	57	58	59	60	61	62	63				

最終学校コード					最終学校名							
64	65	66	67	68	69	104						

最終学校 (ア) (イ)		卒業(修了)年月							都道府県	
学校	卒業	年(西暦)			月					
105	106	107	108	109	110	111	112	113 114		

受験者カード記入例

4 受験者カード

(郵送申込用)

・記入例に従って、太線の枠内のみ鉛筆で楷書でていねいに記入してください。

C#	校種等・教科						※受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
G	A	1	0	1	2					

下欄の校種等・教科コード表から、4桁の数字で記入してください。

氏名(漢字で記入)									
姓	11	20	21	30	名				
神奈川					一平				

漢字で姓名をそれぞれ記入してください。

氏名(カタカナで記入。濁点(ー)、半濁点(ー)は1字として扱う)										
姓	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
姓	カ	ナ	カ	。	ワ					
名	イ	ツ	ヘ	。	イ					

生年月日は、西暦で記入してください。
(例)平成12年9月2日生まれの場合は、「20000902」となります。

和暦と西暦の対応は、下欄の表を参考にしてください。

生年月日					
年(西暦)		月		日	
57	58	59	60	61	62
2	0	0	0	9	0

最終学校コード						最終学校名	
64	65	66	67	68	69		104
A	0	0	3	4	横浜国立大学		

最終学校の学校欄は次の1~9の区分から1つ選び、数字で記入してください。

- 1 教員養成課程のある
　　国立大学の教育系学部
- 2 国立大学（1を除く）
- 3 公立大学
- 4 私立大学
- 5 高等学校（大検・高認合む）
- 6 短期大学
- 7 指定教員養成機関等
- 8 大学院等（専攻科含む）
- 9 その他

最終学校の卒業欄は次の1~2のどちらかの数字を記入してください。

- 1 卒業（修了）
- 2 卒業（修了）見込

最終卒業（修了）学校名を受験者カード裏面の学校コード表から選び、コード番号を5桁の記号で記入してください。

学校コード表に該当する学校名がない場合は、「99999」と記入してください。

また、学歴が複数で最終卒業学校が特定できない場合も「99999」と記入してください。

最終学校 (フ) 学校 卒業	卒業（修了）年月	
	年(西暦)	月
105	106	107
108	109	110
111	112	

卒業（修了）年月を西暦で記入してください。
(例)2023年3月見込 → 「202303」

都道府県コード表	
都道府県名	コード
北海道	01
青森県	02
岩手県	03
宮城県	04
秋田県	05
山形県	06
福島県	07
茨城県	08
栃木県	09
群馬県	10
埼玉県	11
千葉県	12
東京都	13
神奈川県	14
新潟県	15
富山県	16
石川県	17
福井県	18
山梨県	19
長野県	20
岐阜県	21
静岡県	22
愛知県	23
農業	24

都道府県コード表	
都道府県名	コード
滋賀県	25
京都府	26
大阪府	27
兵庫県	28
奈良県	29
和歌山县	30
鳥取県	31
島根県	32
岡山県	33
広島県	34
山口県	35
徳島県	36
香川県	37
愛媛県	38
高知県	39
福岡県	40
佐賀県	41
長崎県	42
熊本県	43
大分県	44
宮崎県	45
鹿児島県	46
沖縄県	47
三重県	24

14

下欄の都道府県コード表から、自宅のある都道府県名コードを2桁の数字で記入してください。大学等で実家を離れている場合には、実家のある都道府県名コードを記入してください。

校種等・教科コード表		
校種等	教科	コード
小学校	小学校全科	1012
	国語	2102
	社会	2202
	数学	2302
	理科	2402
	音楽	2512
	美術	2522
	保健体育	2542
	技術	2552
	家庭	2562
	英語	2602
特別支援学校		4011
養護教諭		5042

校種等・教科コード表		
校種等	教科	コード
国語	3101	
地図・公民（公民）	3221	
地図・公民（日本史）	3251	
地図・公民（世界史）	3261	
地図・公民（地理）	3271	
数学	3301	
情報	3311	
理科（物理）	3411	
理科（化学）	3421	
理科（生物）	3431	
音楽	3511	
美術	3521	
書道	3531	
保健体育	3541	
家庭	3561	
英語	3601	
工業（建設）	3751	
工業（機械）	3771	
工業（電気）	3781	
工業（デザイン）	3801	
工業（化学）	3821	
商業	3811	
農業	3841	
水産	3891	

参考	和暦	西暦
昭和64年		1989年
平成元年		
平成2年		1990年
平成3年		1991年
平成4年		1992年
平成5年		1993年
平成6年		1994年
平成7年		1995年
平成8年		1996年
平成9年		1997年
平成10年		1998年
平成11年		1999年
平成12年		2000年
平成13年		2001年
平成14年		2002年
平成15年		2003年
平成16年		2004年
平成17年		2005年
平成18年		2006年
平成19年		2007年
平成20年		2008年
平成21年		2009年
平成22年		2010年
平成23年		2011年
平成24年		2012年
平成25年		2013年
平成26年		2014年
平成27年		2015年
平成28年		2016年
平成29年		2017年
平成30年		2018年
平成31年		2019年
令和元年		
令和2年		2020年
令和3年		2021年
令和4年		2022年
令和5年		2023年

学校コード表

(案の1-6-2の裏)

- 該当する学校コードがないときは、「99999」を記入してください。
 - 高等学校、専門学校等を卒業の人は、「99999」を記入してください。
 - 大学院等修了(見込)の人は、同一大学名の学校コードを記入してください。

大學		芝浦工業大学	A2069	東洋英和女学院大学	A2394
あ	愛知大学	島根大学	A0060	徳島文理大学	A2270
	愛知学院大学	秀明大学(旧八千代国際大学)	A2410	獨協大学	A2040
	愛知教育大学	淑徳大学	A2043	鳥取大学	A0059
	愛知淑徳大学	順天堂大学	A2070	富山大学	A0036
	青山学院大学	松蔭大学	A2241	長崎大学	A0073
	秋田大学	上越教育大学	A0089	名古屋大学	A0043
	麻布大学	城西大学	A2037	名古屋外国语大学	A2396
い	亞細亜大学	上智大学	A2071	奈良教育大学	A0056
	茨城大学	湘南工科大学	A2338	鳴門教育大学	A0095
	岩手大学	昭和音楽大学	A2337	南山大学	A2182
う	宇都宮大学	昭和女子大学	A2073	新潟大学	A0035
え	愛媛大学	女子栄養大学	A2075	二松学舎大学	A2115
お	桜美林大学	女子美術大学	A2076	日本体育大学	A2123
	大阪大学	信州大学	A0040	日本大学	A2116
	大阪大谷大学	成蹊大学	A2079	日本教育大学院大学	A2373
	大阪教育大学	星槎大学	A2388	日本女子大学	A2121
	大阪経済大学	成城大学	A2080	日本女子体育大学	A2122
	大阪市立大学	清泉女子大学	A2082	日本福祉大学	A2183
	大阪体育大学	聖徳大学	A2343	白鷗大学	A2351
	大阪府立大学	専修大学	A2084	兵庫教育大学	A0097
	大妻女子大学	洗足学園音楽大学	A2149	弘前大学	A0008
	岡山大学	仙台大学	A2018	広島大学	A0062
	岡山理科大学	創価大学	A2085	フェリス女学院大学	A2152
か	お茶の水女子大学	大正大学	A2086	福井大学	A0038
	学習院大学	大東文化大学	A2087	福岡大學	A2283
	鹿児島大学	高千穂大学	A2088	福岡教育大学	A0068
	鹿児島国際大学	拓殖大学	A2089	福島大学	A0014
	神奈川大学	玉川大学	A2090	佛教大学	A2199
	神奈川県立保健福祉大学	多摩美術大学	A2091	文化学園大学	A2413
	神奈川工科大学	千葉大学	A0020	文教大学	A2315
	金沢大学	中央大学	A2092	法政大学	A2126
	鹿屋体育大学	中京大学	A2173	放送大学	A2404
	鎌倉女子大学	中部大学	A2175	北翔大学	A2411
	関西大学	筑波大学	A0016	北海道大学	A0001
	関西外国语大学	津田塾大学	A2093	北海道教育大学	A0002
	関西学院大学	都留文科大学	A1007	三重大学	A0046
	環太平洋大学	鶴見大学	A2150	宮城学院女子大学	A2024
	関東学院大学	帝京大学	A2094	宮城教育大学	A0011
き	幾央大学	帝京科学大学	A2390	宮崎大学	A0076
	北里大学	帝京平成大学	A2357	宮崎公立大学	A2406
	岐阜聖徳学園大学	田園調布学園大学	A2391	武藏大学	A2128
	九州大学	電気通信大学	A0032	武藏野大学	A2131
	京都大学	天理大学	A2249	武藏野音楽大学	A2130
	京都外国语大学	と桐蔭横浜大学	A2331	武藏野美術大学	A2132
	京都教育大学	東海大学	A2095	め明治大学	A2133
	京都産業大学	東海学園大学	A2372	明治学院大学	A2134
	京都女子大学	東京大学	A0021	名城大学	A2184
	共立女子大学	東京音楽大学	A2097	明星大学	A2136
	杏林大学	東京外国语大学	A0023	白百合大学	A2407
	近畿大学	東京海洋大学(旧水产・商船)	A0029	盛岡大学	A2342
く	国立音楽大学	東京芸術大学	A0024	山形大学	A0013
	熊本大学	東京家政大学	A2098	山口大学	A0063
	群馬大学	東京家政学院大学	A2099	山梨大学	A0039
け	慶應義塾大学	東京経済大学	A2100	よ横浜国立大学	A0034
こ	工学院大学	東京藝術大学	A0026	横浜商科大学	A2153
	皇學館大学	東京工業大学	A0028	横浜市立大学	A1005
	高知大学	東京工芸大学	A2151	り立教大学	A2137
	甲南大学	東京女子大学	A2103	立正大学	A2138
	神戸大学	東京女子体育大学	A2105	立命館大学	A2200
	國學院大學	東京造形大学	A2107	琉球大学	A0078
	国際武道大学	東京電機大学	A2108	龍谷大学	A2347
	國土館大学	東京都市大学	A2414	わ和光大学	A2139
	駒沢大学	東京都立大学(旧首都大学東京)	A1004	早稲田大学	A2140
さ	埼玉大学	東京農業大学	A2109	短期大学	
	佐賀大学	東京福祉大学	A2370	鎌倉女子大学短期大学部	B3365
	相模女子大学	東京理科大学	A2111	昭和音楽大学短期大学部	B3368
	産業能率大学	同志社大学	A2195	昭和女子大学短期大学部	B3301
し	滋賀大学	東北大学	A0010	帝京短期大学	B3316
	至学館大学	東北学院大学	A2019	東海大学短期大学部	B3318
	静岡大学	東北女子大学	A2013	横浜美術短期大学	B3374
	実践女子大学	東北福祉大学	A2021	その他	
	四天王寺大学	東洋大学	A2114	横浜高等教育専門学校	C6503

ひと 未来を育てる仕事 かながわで

志願者
説明会

神奈川県の教員を目指す方を対象とした志願者説明会を、全国9会場で10回開催します。
神奈川県で先生として働く魅力や、試験の申込み方法などを伝えします。ぜひご参加ください！

会場	日 時	募集 定員	場 所
1 宮城	令和4年4月9日（土） 午後2時～午後3時30分	80人	フォレスト仙台 第2フォレストホール 仙台市青葉区柏木1-2-45
2 大阪	令和4年4月9日（土） 午後2時～午後3時30分	100人	エル・おおさか（大阪府立労働センター） 大阪市中央区北浜東3-14
3 岡山	令和4年4月9日（土） 午後2時～午後3時30分	150人	環太平洋大学 第1キャンパス PHILOSOPHIA（ザザンクロス） 岡山市東区瀬戸町観音寺721
4 愛知	令和4年4月10日（日） 午後2時～午後3時30分	100人	ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 名古屋市中村区名駅4-4-38
5 神奈川	令和4年4月15日（金） 午後7時～午後8時30分	300人	藤沢市民会館 藤沢市鶴沼東8-1
6 神奈川	令和4年4月20日（水） 午後6時30分～午後8時	400人	神奈川県立音楽堂 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2
7 神奈川	令和4年4月26日（火） 午後7時～午後8時30分	400人	やまと芸術文化ホール（シリウス） 大和市大和南1-8-1
8 神奈川	令和4年4月30日（土） 午後2時～午後3時30分	200人	神奈川県立かながわ労働プラザ 横浜市中区寿町1-4
9 神奈川	令和4年4月30日（土） 午後6時30分～午後8時	200人	神奈川県立かながわ労働プラザ 横浜市中区寿町1-4
10 神奈川	令和4年5月5日（木） 午後2時～午後3時30分	300人	小田原三の丸ホール 小田原市本町1-7-50

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況及び自然災害等により、説明会を中止する場合は、神奈川県教員採用試験のホームページに掲載します。

■内容

- 神奈川県の教師になる魅力と求める人材について
- 教師という仕事の魅力について
- 神奈川県の選考試験の概要（採用案内・実施要項等を配付します）
- 個別相談会（全体会終了後、希望者のみ）



■申込方法

- インターネットによる申込み（電話やメールでの申込みはできません）
- 申込開始 令和4年4月1日（金） 15時から

※ 神奈川県公立学校教員採用候補者選考試験のホームページよりお申込みください

神奈川県 教員採用試験

検索

■説明会の参加にあたって

感染症拡大防止のため、次の通りご協力をお願いいたします。

- マスクの着用、手洗いの徹底をお願いいたします。
- 会場入口等でのアルコール消毒液の利用による手指の消毒をお願いいたします。
- 発熱・せき等、かぜの諸症状が見られる方は、参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。

■問合せ先

神奈川県教育委員会 教育局行政部 教職員人事課 教職員採用グループ

電話 045-210-8190

ホームページ



Facebook



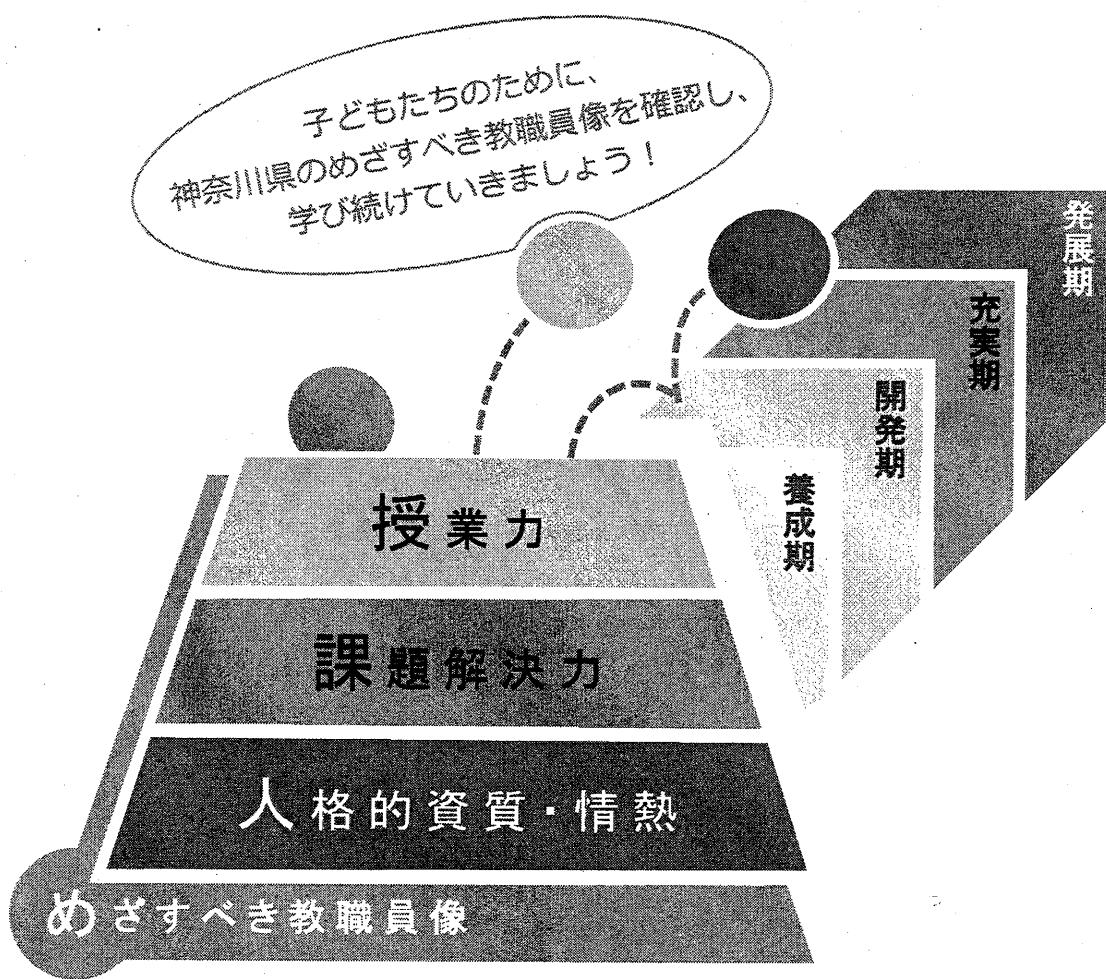
Twitter





神奈川県のめざすべき教職員像の実現に向けて

～ 校長及び教員の資質向上に関する指標 ～



神奈川県教育委員会では、本県の教育の総合的指針である「かながわ教育ビジョン」の重点的な取組み「VI. 意欲と指導力のある教職員の確保・育成と活力と魅力にあふれた学校づくり」を推進するため、「教職員人材確保・育成計画」の中で、神奈川県における「めざすべき教職員像」を明らかにしています。

平成29年8月
神奈川県教育委員会

校長

◆ めざすべき校長像については、「学校経営力」を加えます。

※ 副校長、教頭には、校長の校務を補佐する役割として、校長に準じる役割が求められます。

学校経営力

専門家集団をチームとしてまとめる学校経営の実践

- 教育者としての強い使命感に基づくゆるぎない信念をもち、「かながわ教育ビジョン」の理念のもとに設定した学校教育目標の実現に向けて教職員をまとめ、指導している。
- 教職員や組織の適切な管理監督を行っている。
- 教職員個々のキャリアプランを見通し、教職員一人ひとりの意欲向上・人材育成に資する指導・助言を行っている。
- 開かれた学校づくりに向け、保護者や地域の方の意見を把握するとともに、学校に対する要望の実現に向けて努力している。
- 学校事故などの不測の事態に対し、強いリーダーシップをもって迅速かつ適切に、そして組織的に対応している。
- 適正な学校評価の実施に努め、評価結果を踏まえ、不断の学校運営の改善と発展を図っている。

【養成期】出会い、学ぶ

【開発期】学び、高める

【充実期】広げ、分かち合う

【発展期】伝え、支える

養護教諭

◆ 「課題解決力」と「人格的資質・情熱」のほかに、「授業力」に代えて、保健管理と保健指導に必要となる専門的な力である「専門力」を加えます。

専門力

子どもに寄り添い、子どもの心身を守る学校保健活動の実践

- 保健管理と健康相談に必要な知識や技能を理解している。
- 子どもの実態に応じた保健指導について理解している。
- 保健に係る集団指導について、子どもが互いに協力し合える指導法を理解している。
- 学校保健計画や保健室経営計画、学校保健活動の基本を理解している。

- 適正な保健管理と子どもに寄り添った健康相談に取り組んでいる。
- 子どもの実態を把握し、適切な保健指導を実践している。
- 子どもの個性を理解し、保健に係る集団指導を実践している。
- 学校保健計画作成の中心となり、学校保健活動を円滑に実施し、評価している。

- 保健管理と健康相談の結果を同僚教職員と共有し、校内の学校保健活動や教育相談活動の充実を図っている。
- 適切な保健指導を実践し、子どもの健康と成長を支えている。
- 同僚教職員と協力し、保健に係る集団指導を実践している。
- コーディネーター的な役割をもち、同僚教職員と学校保健活動全体をけん引している。

- 保健管理と健康相談を踏まえた協力・連携のもと、円滑な学校運営に寄与している。
- 適切な保健指導を実践し、子どもの主体的な健康づくりにつなげている。
- 保健に係る集団指導を通じて、様々な学校活動を活性化している。
- より充実した学校保健活動に向け、同僚教職員の円滑な参画を促している。

栄養教諭

◆ 「課題解決力」と「人格的資質・情熱」のほかに、「授業力」に代えて、給食管理と食に関する指導に必要となる専門的な力である「専門力」を加えます。

専門力

健やかな心身と豊かな人間関係を育む食に関する指導の実践

- 給食管理や食に関する指導に必要な基本的知識や技能を理解している。
- 子どもの現代的な健康課題を理解し、その対応に必要な専門性を理解している。
- 学校における食育の中核的な役割としての重要性を理解している。

- 給食管理や食に関する指導に必要な知識や技能を身に付け、常に学び続けている。
- 子どもの現代的な健康課題を理解し、その対応に必要な専門性を發揮している。
- 学校における食育での中核的な役割を理解し、取り組んでいる。

- 子どもの現状と課題を踏まえ、給食管理に加えて、学校教育活動の一環として食に関する指導を展開するため、校内で中核的な役割を果たしている。
- 社会変化に対応し、最新の食に関する知見を収集し、学校における食育の推進を果たしている。

- 給食管理や食に関する指導について、主体的に学校運営に関わる意識や実践的指導力をより一層高めている。
- 学校内外の関係者と連携し、食育推進のコーディネーターとして中核を担っている。



神奈川県

教育委員会教育局行政部教職員企画課

横浜市中区日本大通33 〒231-8509

電話(045)210-8187 (直通)

FAX(045)210-8938

<http://www.pref.kanagawa.jp/div/4003/>